

なるほど 学校厚生会

兵庫県学校厚生会は、退職会員による「仲間づくり」や、「厚生会事業」を中心とした生きがいや暮らしの安心のための「セーフティネット」の充実を図っています。

退職
会員版



ワン for All
All for ワン



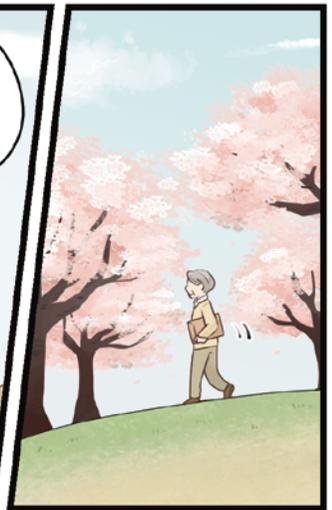
佐藤先生、
お久しぶりです



ふう、

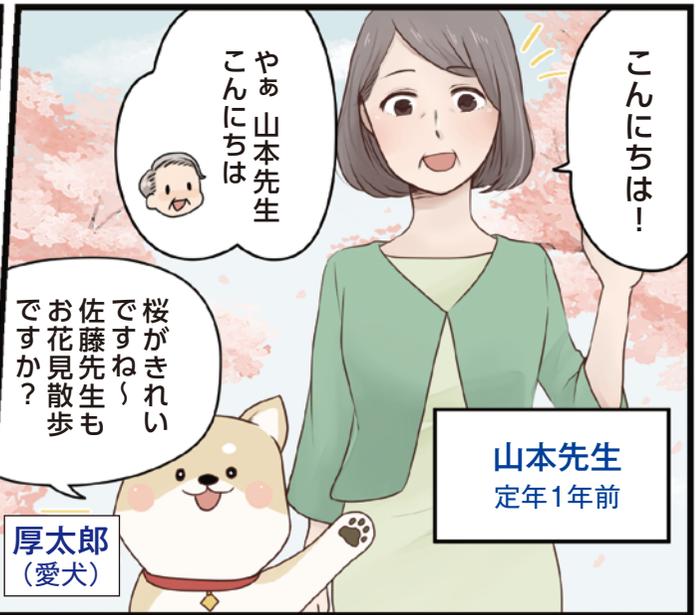
さああと二軒で
終わりだ

現・世話係
佐藤先生



厚学生会の訪問活動で
文書を届けているんだ。
今から鈴木先生宅に行くところだよ

山本先生も
あと一年で
定年だね



こんにちは！

やあ山本先生
こんにちは

桜がきれい
ですね、
佐藤先生も
お花見散歩
ですか？

山本先生
定年1年前

厚太郎
(愛犬)



じゃあ、
すまないけど
二人に
お願いして
いいかな？

お安い
御用です！



歩くことは健康に
良いと思うてね
五年前に
引き受けたんだけど…
やっぱり年には
勝てないなあ

鈴木先生は
ご近所だから
持って行き
ましうか？

そうね！
帰りに
寄って
行きましょ



文書？届けるの？
手配りで…!?
退職したら『ふれあい』が
自宅に届くんだった…

じゃあ
あの坂を
通ってるんですね

発足

学校厚生会は1968年に発足しました。県内に複数の福利厚生組織が存在し、教職員の退職後の就労・医療・生活の不安を訴える声が高まり、新たな組織創設の模索が始まったのがきっかけとなりました。1968年6月に出された学校厚生会設立趣意書には「教育関係者自らの生活を豊かにし、健康増進と生活の安定をはかるために民間組織を創設し、その自主的活動を行うことが是非必要と考えられます」と記されました。学校厚生会は、県内福利厚生組織が大同団結することで誕生し、現職・退職一貫の総合福祉団体として今日に至っています。

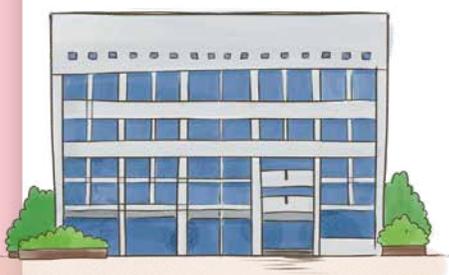
※学校厚生会は、県教育委員会・教職員組合・校長会・退職教職員代表が発起人となり、「退職後を考える会」を前身とし、相互扶助の精神を基盤に地方公務員法第42条及び「教職員の共済制度に関する条例」に基づき、1968年に県教育委員会の認可を受けて設立されました。



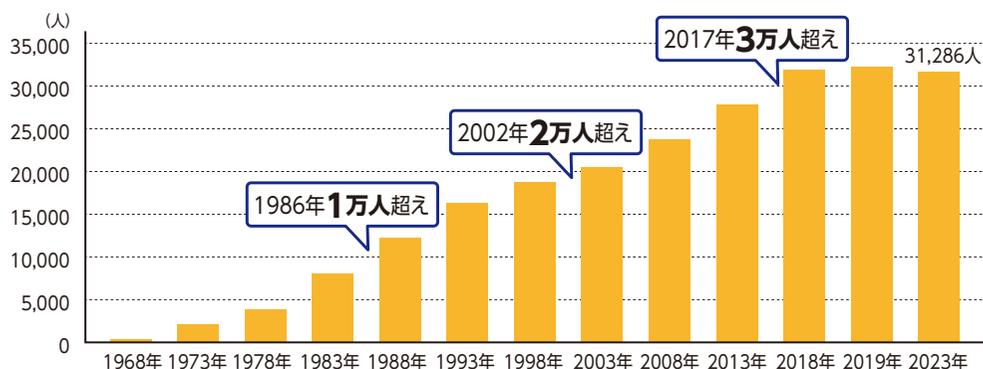
289人

退職会員制度

学校厚生会創設の目的のひとつは教職員の退職後の生活を支えることでした。そのため「退職後を考える会」、県教職員互助会「小委員会」での協議によって新たに発足した学校厚生会では、発足と同時に「退職会員制度」をスタートさせました。スタート時の退職会員数はわずか289人でした。



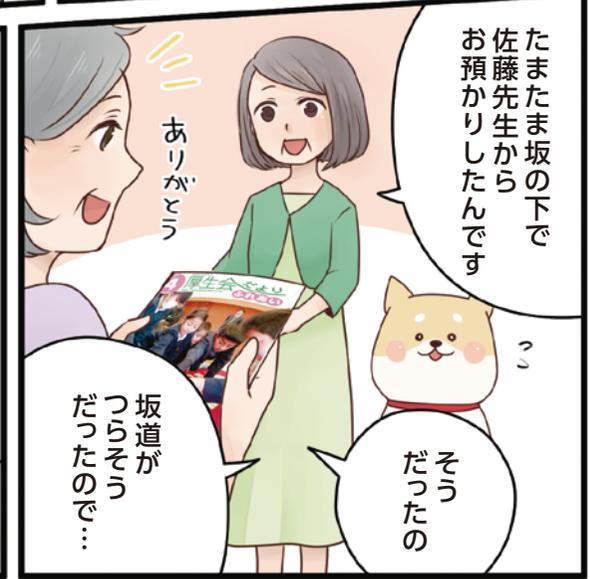
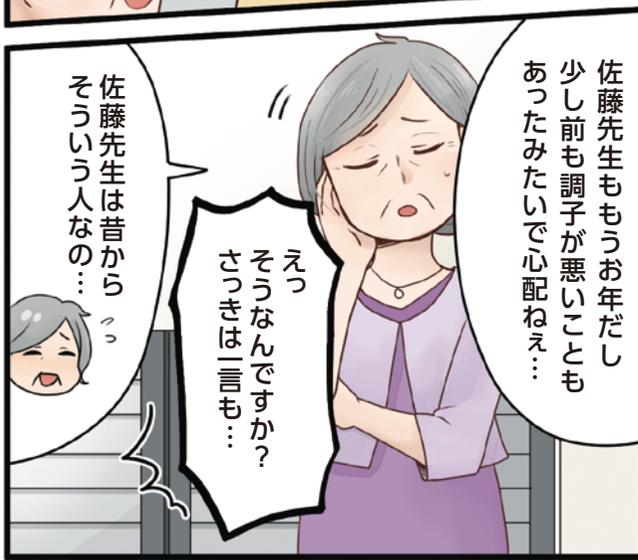
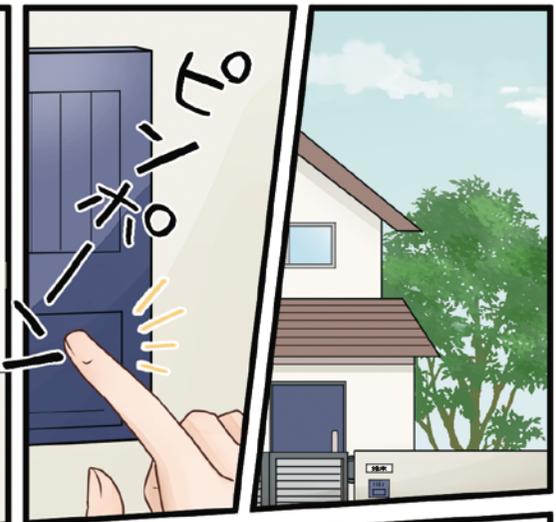
退職会員数の推移



発足当時289人だった「退職会員数」は、時代の成長と合わせて順調に増え続け、1986年には1万人を、2002年には2万人を超え、2017年には3万人の会員数を数えるようになりました。2023年末現在、31,286人の退職会員がいらっしゃいます。会員数の増加は、「高齢化社会」にあつて今後も増える見込みです。ただ、会員数の増加の背景では、「組織運営」における課題が浮き彫りになってきました。



約31,000人



| 退職会員班組織 |

退職会員になると、皆さんの所属は「学校」から「居住地単位」の『班』に変わります。

退職会員班組織は、各地区に「幹事」を、お住まいの居住地単位の小学校区に「世話係」を置いて、「つどい」や「バス旅行」などの企画や運営を担っていただいています。常任幹事・幹事・世話係は、退職会員班組織の基盤です。現在、幹事370人、世話係1,750人の皆さんで支えてくださっています。この支えがあるからこそ退職会員班組織は成り立っています。

いつもご協力
ありがとうございます。



常任幹事・幹事

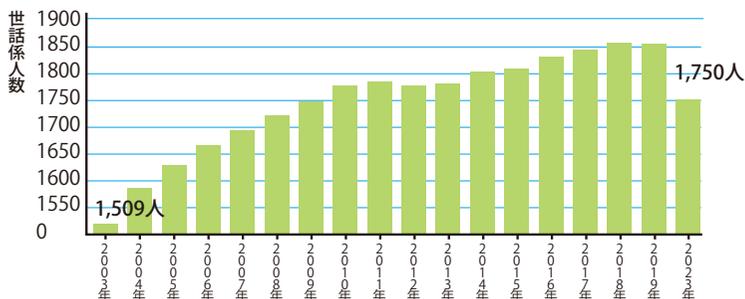
【常任幹事・幹事】とは
各地区の会員を代表して支部事業の企画運営に参画いただいています。

【世話係】とは
班ごとにボランティアとして皆さんの様子伺いを兼ねてお宅を訪問し、厚生会と会員をつなぐ重要なお知らせ・役立つ情報が盛り込まれた広報誌「ふれあい」等をお届けいただいたり、退職会員が一堂に会する「つどい」などの受付や運営をお手伝いいただいています。活動を通して、仲間とのつながりを深めています。

世話係



| 深刻化する活動のつなぎ手不足 |



退職会員 31,286人
世話係 1,750人



退職会員班組織の
安定的な運営には
後継者が必要だ!!

退職会員数の増加に対して、幹事・世話係数は横ばいの状況です。また、「班」によっては世話係が不在の班も出てきました。

活動は会員の自主性によって成り立っています。「相互扶助」の精神を引き継ぎ“未来”へつなぐためには、幹事・世話係の役割を担ってくださる『後継者』が必要不可欠となっています。

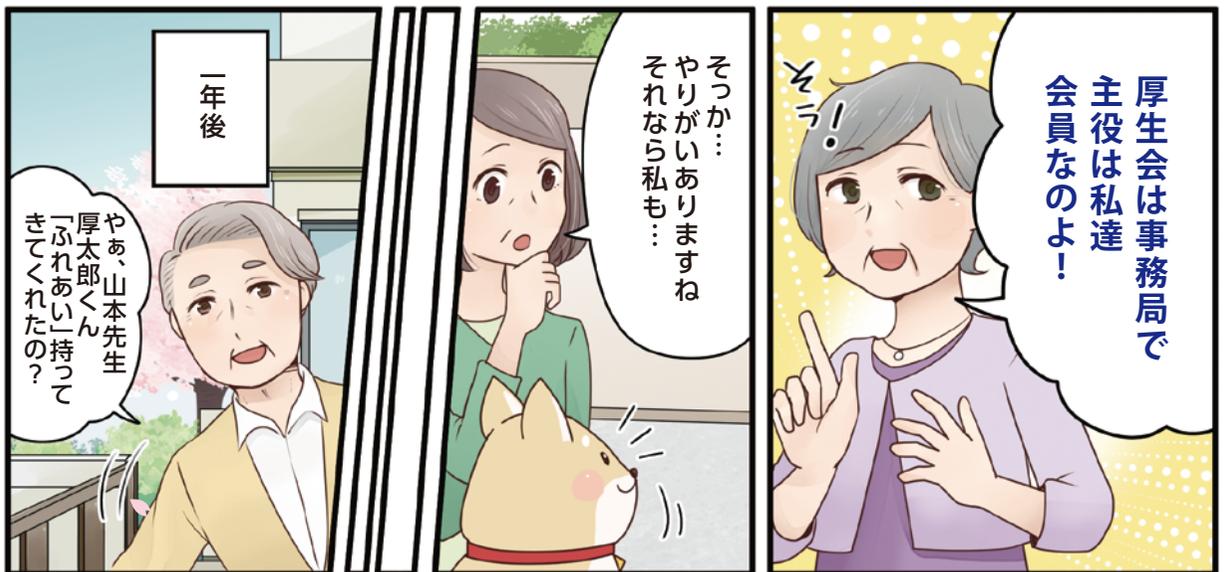


秋には『つごい』っていった地域単位で退職会員の集いがあるの私が世話係をしていた時には



企画運営にも携わって、そこで私達コミュニティのコーラスサークルが歌を披露したりもしたわね

へえ、
そついうのって
厚生会が全て
企画運営
してるんじや
ないんですね？



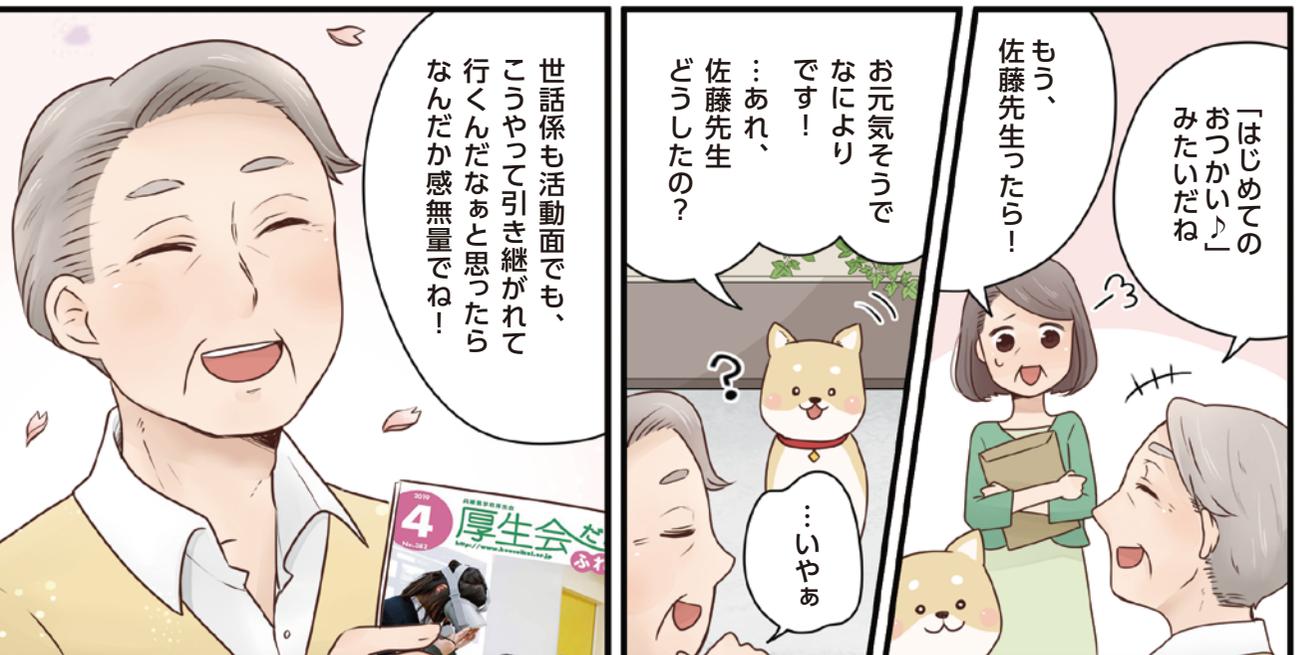
厚生会は事務局で
主役は私達
会員なのよ！

そつ！

そつか、
やりがいありますね
それなら私も…

一年後

やあ、山本先生
厚太郎くん
「ふれあい」持って
きてくれたの？



「はじめのおつかい」
みたいだね

もう、
佐藤先生ったら！

お元気そうで
なにより
です！

…あれ、
佐藤先生
どうしたの？

…いやあ

世話係も活動面でも、
こうやって引き継がれて
行くんだなあと思ったら
なんだか感無量でね！



退職会員が自分達で企画して、活発に活動しています!!



仲間づくり



健康づくり



生きがいづくり



相互扶助が支える力 一人は万人のために、万人は一人のために

掛金は療養補助金をはじめとする「給付」と「福祉事業」に使われています。掛金は毎年10月に年会費として口座振替させていただいています。掛金を原資として学校厚生会の主事業である「給付」と「福祉事業」を実施しています。会員及び家族の健康増進や趣味、教養を深める文化活動、日常生活で必要となる法律・税務相談から悩み相談まで幅広い事業が掛金によって支えられています。

多くの会員数だからこそ可能になる「万一の備え」としての保険。多くの会員から原資を集め、その原資を元に万一の時には「保険金」として個々を支える相互扶助の精神が「保険」の根幹にあります。

ゆとりあるセカンドライフを可能にするために。退職後の暮らしを安心して豊かに過ごしていただくために、厚生会の職員がさまざまな提案をさせていただきます。

「おせち」から「新車」購入まで。お正月用品や夏・冬ギフトから新車購入、住宅のリフォームまで現職・退職合わせて約7万人を誇る会員規模だからこそ、良質な商品・魅力ある特典をご提供できています。

— 変化する社会基盤 —

well-being

一人ひとりが多様な幸せを
実現できる社会

人口減少

兵庫県でも毎年約3万人が
減っている

人生100年時代

現役・退職など、年齢による区切りの消滅と、新しい人生設計の必要性

スマートエイジング

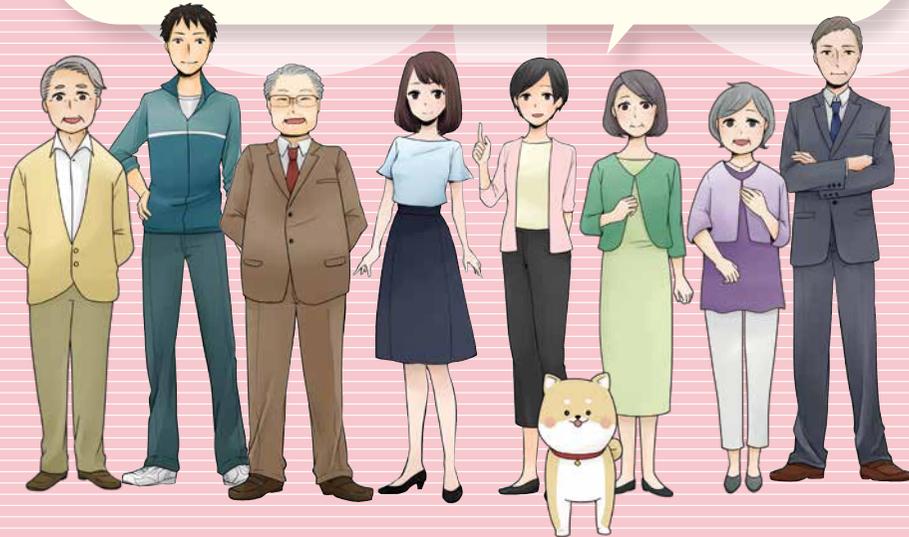
経年変化へ知的に賢く対応し、
個人・社会の知的な成熟へ

DX

Face To Faceとデジタルの相乗効果による
会員にとって、より身近な福利厚生団体へ

未来に向けて今も社会は変化しています…
創設当初から引き継がれた理念を基に会員に寄り添った組織として、
兵庫県学校厚生会は変わりません。

『3万人の退職会員をつなぐため、
あなたの参加をお待ちしております』



お問い合わせ・ご相談はお近くの支部まで、お気軽にご連絡ください。
ホームページもあわせてご参照ください。

一般財団法人 兵庫県学校厚生会

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通4-7-34 TEL:078-331-9955

<https://www.kouseikai.or.jp>

兵庫県学校厚生会・
関係法人公式サイト
SMILE PORT

